

港区議会議員

区民相談は  
お気軽に!

## 池田たけしNEWS

一人のために、地域のために

発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441  
発行日：2021年4月15日 URL：https://ikedatakeshi.net

## 議会報告 港区議会令和3年第一回定例会 令和3年度予算特別委員会

## 総務費 ・ 地域防災について

Q 「新たな日常」での増設した避難所の運営体制の確保について

A 今後の避難所運営は、区が養成してきた防災士から人材を募り、地域防災協議会と連携するなど、運営体制の強化について検討していく必要があると考えます。地域防災協議会が安全かつ円滑に避難所を運営できるよう、緊密に連携して取り組みます。

Q 避難所運営体制に女性や障がい者等の「災害弱者対応班」を組織に位置付けるべき

A 避難所運営において、災害弱者をサポートする班体制を設けることについては、地域防災協議会と意見交換をしながら、避難所運営マニュアルへの記載を含めて、検討します。

## 民生費 ・ 児童相談所設置について

Q 「港区子ども家庭総合支援センター」が「3施設複合」であることの意義は

A 港区子ども家庭総合支援センターは「子ども家庭支援センター」「児童相談所」「母子生活支援施設」の複合施設です。増加する児童虐待など子どもの相談に迅速、丁寧に対応し3施設の専門性を活用し、妊娠期から児童の自立まで、地域ぐるみで切れ目ない支援を目指し、身近にワンストップで問題に迅速に対応することができます。このような複合施設の整備は、特別区において例のない新しい試みです。

Q 児童相談所設置により子どもの最後の砦である里親の推進を

A 児童相談所に里親担当の職員を専任で配置し調査、認定、子どもの委託決定を行います。里親サロンは、里親同士の交流を目的として日頃感じている悩みや苦勞、互いへのアドバイスなどを話し合い、令和3年度は年4回以上の開催を予定、開催場所の設定や平日だけでなく休日も開催。時には里親希望者にも参加を呼びかけるなど多くの方にご参加いただける場としてまいります。



## 衛生費 ・ 新型コロナウイルス感染症について

Q 「新しい日常」での若者に向けた生活習慣の周知勧奨について

A ホームページで若者を始め、広い年代の方が感染防止に内容にし、感染症対動画やSNS、デジタルサイネージなど多様な媒体を活用し、若年層にも分かりやすく伝えるように工夫します。

Q 接種の理解促進と副反応など多くの問い合わせへの対応、接種をためらう方への対応は

A ワクチンの有効性、安全性、副反応等の正しい情報を、コールセンターでの問い合わせ、広報みなと特集号の全戸配布、ポスターの掲示、LINEやTwitter等で情報発信など、様々な方法で丁寧に周知してまいります。



## 土木費 ・ 駅のバリアフリー促進化について

Q 浜松町、赤坂、六本木、白金高輪、田町駅の重点整備地区バリアフリー整備の成果、そこから得られた知見、利用者の声は。

A バリアフリー設備整備率はエレベーターが100%、エスカレーターが96.9%、ホームドアが82.8%となりました。視覚障がい者や高齢者からは駅への動線、移動時間帯の制限や高低差についてご意見を頂き、バリアフリーの複数ルートを推進してまいります。

Q 視覚障がい者に対する新たなアプリの開発への区の関わりと区民等の安全、安心の保ち方は。

A 区は、ICTを活用した白杖や、駅構内移動支援システム等について、業者からヒリングや現場での実務体験を行いました。安全、安心につながるバリアフリー化に寄与するアプリなど新たな開発に注視し、情報収集に努めてまいります。

## 国民健康保険会計 ・ 糖尿病重症化予防策について

Q 治療中断者をレセプトから抽出し効果的な受診勧奨を行い治療に結びつけるべき

A 糖尿病治療中断者などは、特定健康診査を受診されないと健康状態の把握が難しいことから、レセプトによる対象者抽出は有効であると考えます。今後、レセプトによる対象者抽出について、検討してまいります。



# 令和3年第1回定例会共通実績

## 防犯カメラ等の設備機器設置 助成の再度利用が可能に！

「共同住宅防犯対策助成事業」で防犯カメラ等の設備機器については1対象者1回までとなっていましたが、経年劣化により防犯上の運用に支障をきたさないよう再度利用できるような制度の見直しを、3年前から粘り強く議会で訴え提案してまいりました。

その結果、令和3年度から再度の助成が受けられるようになります！



## 「コンテナ型屋外指定喫煙所」の設置が 予算化！

屋外指定喫煙所として、昨年3月の令和2年度予算特別委員会において、たばこの煙が漏れない「コンテナ型」などの密閉型喫煙所の導入について質問・提案してまいりました。

その結果、令和3年度予算に反映され、可能な場所から現在のパーティション型からコンテナ型喫煙所に転換されることになります。



## コロナ禍の文化芸術団体 への支援が拡充！

コロナ禍の文化芸術関連団体から支援の要請を受け、昨年4月港区に支援を訴えた結果、区内文化芸術団体10団体に、文化プログラム事業実施を50万円まで応援する事業が昨年7月に実現。

さらに港区議会公明党として昨年10月港区長に対し、芸術団体の多くは財政的基盤が弱くコロナ禍でも芸術の灯を消させぬような支援を予算要望。

その結果、令和3年度予算では、100団体、最大30万円の活動継続支援助成が実現！



## 港区立の児童相談所・母子生活支援施設 が開設！

本年4月1日、南青山に「子ども家庭支援センター」「児童相談所」「母子生活支援施設」の3施設がひとつの建物内で有機的に連携して相談者を支援する、「港区子ども家庭総合支援センター」が開設されました。

区議会公明党は10年以上前から児童相談所の区移管設置を求めてきましたが、2017年の改正児童福祉法施行で港区でも「児童相談所」を設置できるようになりました。また、平成28年第4回定例会で、区内から無くなってしまった母子生活支援施設について、公営での設置の必要性を訴えていました。

施設には親子ふれあい広場カフェもあり、子育て相談、虐待対応、里親推進など地域に身近な区が、妊娠期から子育て期、思春期から自立までと、切れ目なく一貫した支援を行い子どもの命と権利、その笑顔を守っていきます。



## オンラインを活用した介護予 防支援事業！

コロナ禍で外出を控えている高齢者への介護予防対策として、ケーブルテレビ等を活用した体操など介護予防プログラムの動画配信を要望していました。

令和3年10月から、自宅でも運動指導や健康管理の助言をオンラインで受けられる介護予防事業が始まります。利用者に対しては事前にオンラインを利用するための講座・講習会が実施されます。



## 陶磁器・ガラスのリサイクル開始！

港区では、これまで不燃ごみとして埋め立て処分してきた陶磁器とガラス類の資源回収を本年4月から開始することになりました。現在の埋め立て処分場の容量があと50年しかない状況で、区はごみの資源化率を令和14年度までに、現状の29%から50%に引き上げる目標を定め、取組の一つとして陶磁器・ガラス資源回収を決定したものです。

区議会公明党として、令和2年度予算特別委員会で、子どもたちの未来に負担をかけないためにも資源回収を訴えていたものが実現しました。

